

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信託期間	2022年7月26日まで（2017年7月27日設定）
運用方針	世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。 マザーファンドの転換社債等の運用にあたっては、ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	ベビード マザー ファンド 世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券を主要投資対象とします。 日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード マザー ファンド 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。  分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 世界好利回りCBファンド2017-07 （為替ヘッジあり）（限定追加型）

第1期（決算日：2018年7月30日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジあり）（限定追加型）」は、去る7月30日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



#### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額	
		税 分	込 配	み 金					期 騰
(設定日)	円		円		%	%	%	百万円	
2017年7月27日	10,000		—		—	—	—	7,449	
1期(2018年7月30日)	9,893		0		△1.1	88.2	8.7	—	6,896

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率				
(設定日) 2017年7月27日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	% —
7月末	9,988	△0.1	61.6	8.8	—	—
8月末	9,954	△0.5	88.6	9.3	—	—
9月末	10,084	0.8	88.4	9.4	—	—
10月末	10,133	1.3	87.4	8.9	—	—
11月末	9,980	△0.2	86.6	8.3	—	—
12月末	9,990	△0.1	88.7	8.4	—	—
2018年1月末	10,027	0.3	86.5	8.2	—	—
2月末	10,002	0.0	88.1	8.1	—	—
3月末	9,989	△0.1	88.6	8.4	—	—
4月末	10,018	0.2	84.0	7.7	—	—
5月末	9,946	△0.5	86.2	8.0	—	—
6月末	9,907	△0.9	88.0	8.3	—	—
(期 末) 2018年7月30日	9,893	△1.1	88.2	8.7	—	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

（第1期：2017/7/27～2018/7/30）

#### 基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ1.1%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	グローバル転換社債（CB）市況が上昇したことやCBの利子収益を享受したこと等が基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	一部の保有銘柄の価格が下落したことや為替ヘッジ・コスト（金利差相当分の費用）等が基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

（第1期：2017/7/27～2018/7/30）

## ◎グローバルCB市況

- ・米国において税制改革法案が成立したこと等を受けて景気拡大が継続するとの見通し等を背景に、株式市況が世界的に堅調に推移したこと等から、グローバルCB市況は上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

## ＜世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジあり）（限定追加型）＞

- ・当ファンドは、世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れるとともに、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減をはかる運用を行いました。
- ・当期の基準価額は、グローバルCB市況が上昇したことやCBの利子収益を享受したこと等がプラスに寄与したものの、一部の保有銘柄の価格が下落したことや為替ヘッジ・コスト等がマイナスに作用し、基準価額は設定時に比べて下落しました。

## ＜世界好利回りCBマザーファンド2017-07＞

基準価額は設定時に比べ2.1%の上昇となりました。

- ・主として、日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・当初ポートフォリオ構築にあたって、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界のCB市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行いました。
- ・その後、保有銘柄は原則継続保有しましたが、値上がりした一部の銘柄等については売却を行い、信用状況や価格水準、流動性等を勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。
- ・上記のような運用を行った結果、一部の保有銘柄の価格が下落したこと等がマイナスに作用したものの、グローバルCB市況が上昇したことやCBの利子収益を享受したこと等がプラスに寄与し、基準価額は設定時に比べて上昇しました。

（ご参考）

**ポートフォリオ特性**

2018年6月末

最終利回り※	4.59%
平均残存年数※	2.92年
株価連動率※	13.14%

※最終利回り、平均残存年数、株価連動率は、運用委託先であるロンバー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドより提供されたものです。

- ・現物債券評価額（含むCB）に対する数値です。
- ・最終利回りは、個別銘柄ごとの複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・平均残存年数は、個別銘柄ごとの残存年数を加重平均したものです。
- ・最終利回り、平均残存年数は、期限前償還請求権（プットオプション）が付与されている銘柄については、償還請求権日を考慮して運用委託先が独自に算出したものです。
- ・株価連動率は、CBの価格が転換対象となる株式等の価格変動にどの程度連動するかを表す指標です。なお、普通社債は0%として計算しています。

**当該投資信託のベンチマークとの差異について**

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期
	2017年7月27日～2018年7月30日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	119

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### <世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジあり）（限定追加型）>

#### ◎今後の運用方針

- ・マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れるとともに、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかり、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。

### <世界好利回りCBマザーファンド2017-07>

#### ◎運用環境の見通し

- ・各国の中央銀行の金融政策や今後の政治イベントに対する思惑などにより、短期的にはCB市場が不安定な動きとなる展開も予想されますが、相対的に利回り水準が高いCBに対する投資家の需要は根強いと見ています。

#### ◎今後の運用方針

- ・今後の運用につきましては、原則として信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、償還まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況などを継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合などには、原則として、信託期間内に償還を迎える銘柄に再投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年7月27日～2018年7月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 71 )	( 0.708 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 33 )	( 0.327 )	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3 )	( 0.033 )	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.022	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	( 0.013 )	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.004 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.005 )	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	109	1.089	
期中の平均基準価額は、10,001円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年7月27日～2018年7月30日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	千口	千円	千口	千円
	8,653,111	8,644,400	1,974,648	1,983,000



## ○利害関係人との取引状況等

（2017年7月27日～2018年7月30日）

## 利害関係人との取引状況

## ＜世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジあり）（限定追加型）＞

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 89,343	百万円 23,490	26.3	百万円 95,787	百万円 22,863	23.9

## ＜世界好利回りCBマザーファンド2017-07＞

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 18,134	百万円 65	0.4	百万円 6,158	百万円 702	11.4

平均保有割合 54.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2018年7月30日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
世界好利回りCBマザーファンド2017-07		6,678,462	6,816,039

## ○投資信託財産の構成

(2018年7月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	6,816,039	97.0
コール・ローン等、その他	211,024	3.0
投資信託財産総額	7,027,063	100.0

(注) 世界好利回りCBマザーファンド2017-07において、期末における外貨建純資産（12,242,029千円）の投資信託財産総額（12,369,586千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.11円	1 ユーロ=129.53円	1 イギリスポンド=145.65円	1 スウェーデンクローネ=12.58円
1 香港ドル=14.16円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年7月30日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,630,978,233
コール・ローン等	107,147,578
世界好利回りCBマザーファンド2017-07(評価額)	6,816,039,043
未収入金	6,707,791,612
(B) 負債	6,734,926,523
未払金	6,604,606,951
未払解約金	88,628,965
未払信託報酬	41,537,870
未払利息	211
その他未払費用	152,526
(C) 純資産総額(A-B)	6,896,051,710
元本	6,970,644,823
次期繰越損益金	△ 74,593,113
(D) 受益権総口数	6,970,644,823口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,893円

## &lt;注記事項&gt;

- ①設定元本額 7,449,795,347円  
 期中追加設定元本額 1,241,797,618円  
 期中一部解約元本額 1,720,948,142円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9893円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は74,593,113円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2017年7月27日～ 2018年7月30日
費用控除後の配当等収益額	81,479,878円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	1,570,089円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	83,049,967円
1万口当たり収益分配対象額	119円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ④「世界好利回りCBマザーファンド2017-07」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○損益の状況（2017年7月27日～2018年7月30日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 92,470
受取利息	1,073
支払利息	△ 93,543
(B) 有価証券売買損益	14,464,707
売買益	801,149,476
売買損	△786,684,769
(C) 信託報酬等	△ 87,821,107
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 73,448,870
(E) 追加信託差損益金	△ 1,144,243
(配当等相当額)	(△ 355)
(売買損益相当額)	(△ 1,143,888)
(F) 計(D+E)	△ 74,593,113
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 74,593,113
追加信託差損益金	△ 1,144,243
(配当等相当額)	( 1,570,089)
(売買損益相当額)	(△ 2,714,332)
分配準備積立金	81,479,878
繰越損益金	△154,928,748

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
(2018年1月1日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

## 世界好利回りCBマザーファンド2017-07

### 《第1期》決算日2018年7月30日

[計算期間：2017年7月27日～2018年7月30日]

「世界好利回りCBマザーファンド2017-07」は、7月30日に第1期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。 銘柄選定にあたっては、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界の転換社債市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行うことを基本とします。なお、信用格付けが投資適格未満（BBB一格相当未満）の銘柄への投資も行います。</p> <p>原則として信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、償還まで保有することを基本とします。なお、運用者の判断により償還前に売却することがあります。</p> <p>転換社債の償還金等については、原則として信託期間内に償還を迎える転換社債に再投資を行います。ただし、市況動向や残存期間等によっては、信託期間内に償還を迎える普通社債や国債等に再投資することがあります。そのため、転換社債の組入比率が大幅に低下することがあります。</p> <p>転換社債等の運用にあたっては、ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
(設定日) 2017年7月27日	10,000	—	—	—	—	13,590
1期(2018年7月30日)	10,206	2.1	89.3	8.8	—	12,250

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	債 券 率	債 先 物 比	券 率
	騰 落 率	率				
(設定日) 2017年7月27日	円	%	%	%	%	%
	10,000	—	—	—	—	—
7月末	9,961	△0.4	63.1	9.0	—	—
8月末	9,954	△0.5	89.7	9.5	—	—
9月末	10,320	3.2	89.0	9.5	—	—
10月末	10,417	4.2	88.8	9.0	—	—
11月末	10,197	2.0	88.6	8.5	—	—
12月末	10,325	3.3	89.5	8.5	—	—
2018年1月末	10,076	0.8	89.4	8.5	—	—
2月末	9,920	△0.8	90.1	8.3	—	—
3月末	9,838	△1.6	89.9	8.5	—	—
4月末	10,156	1.6	82.7	7.6	—	—
5月末	9,992	△0.1	88.1	8.1	—	—
6月末	10,127	1.3	89.0	8.4	—	—
(期 末) 2018年7月30日	10,206	2.1	89.3	8.8	—	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ2.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎グローバルCB市況

・米国において税制改革法案が成立したこと等を受けて景気拡大が継続するとの見通し等を背景に、株式市況が世界的に堅調に推移したこと等から、グローバルCB市況は上昇しました。

## ◎為替市況

・米ドルやユーロなどの主要通貨は対円で概ね横ばいとなりました。  
 ・米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げや欧州中央銀行（ECB）による金融緩和政策の縮小等を受けて、米国やドイツの長期金利が上昇した局面では、本邦との金利差拡大等を背景に円安が進んだものの、米国の貿易政策を巡る懸念が高まった局面等では、投資家のリスク回避姿勢が高まり、安全資産と見られている円が買われたこと等から、円高が進行しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・主として、日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・当初ポートフォリオ構築にあたって、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界のCB市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行いました。
- ・その後、保有銘柄は原則継続保有しましたが、値上がりした一部の銘柄等については売却を行い、信用状況や価格水準、流動性などを勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。
- ・上記のような運用を行った結果、一部の保有銘柄の価格が下落したこと等がマイナスに作用したものの、グローバルCB市況が上昇したことやCBの利子収益を享受したこと等がプラスに寄与し、基準価額は設定時に比べて上昇しました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・各国の中央銀行の金融政策や今後の政治イベントに対する思惑などにより、短期的にはCB市場が不安定な動きとなる展開も予想されますが、相対的に利回り水準が高いCBに対する投資家の需要は根強いと見ています。

## ◎今後の運用方針

- ・今後の運用につきましては、原則として信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、償還まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況などを継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合などには、原則として、信託期間内に償還を迎える銘柄に再投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年7月27日～2018年7月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	2	0.017	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(1)	(0.013)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
	(0)	(0.004)	
合 計	2	0.017	
期中の平均基準価額は、10,106円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年7月27日～2018年7月30日)

## 新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
外 国	アメリカ	千アメリカドル 125,450	千アメリカドル 121,434	千アメリカドル 43,500 (11,100)	千アメリカドル 41,647 (11,100)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	1,000	1,026	—	—
	イタリア	3,000	2,915	—	—
	フランス	1,377	1,340	344	333
	ルクセンブルク	1,300	1,273	1,300	774
	アラブ首長国連邦	11,100	9,431	2,600	2,296
	メキシコ	1,400	1,379	—	—
	中国	1,900	1,825	—	—
	イギリス	千イギリスポンド 6,900	千イギリスポンド 5,923	千イギリスポンド 4,300	千イギリスポンド 2,351
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 8,000	千スウェーデンクローネ 7,875	千スウェーデンクローネ —	千スウェーデンクローネ —	
香港	千香港ドル 52,000	千香港ドル 50,861	千香港ドル —	千香港ドル —	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。



## 公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 13,537	千アメリカドル 3,640

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年7月27日～2018年7月30日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 65	0.4		百万円 702	11.4	

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2018年7月30日現在)

## 外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千アメリカドル	千アメリカドル	千円
1.75 BW GROUP LTD 190910	4,800	4,613	512,631
1.25 WHITING PETR 200401	4,100	3,915	435,098
3.25 NRG YIELD 200601	1,500	1,495	166,191
3.75 SPIRIT REALT 210515	8,900	8,941	993,525
0.875 SUNPOWER CO 210601	2,500	1,969	218,801
1 TWITTER INC 210915	2,050	1,925	213,923
6.25 TWO HARBORS 220115	1,400	1,448	160,926
3.75 ARES CAPITAL 220201	8,750	8,799	977,754
4.375 HERCULES CA 220201	4,050	4,101	455,737
4.625 TCP CAPITAL 220301	2,000	2,016	223,997
0 CHINA MENGNIU D 220605	1,000	938	104,304
5 BLACKROCK CAPIT 220615	6,500	6,642	738,050
2 GLENMARK PHARMA 220628	1,500	1,523	169,289
4.95 PROSPECT CAP 220715	9,200	8,943	993,692
0 CHINA OVERS 230105	8,600	9,032	1,003,562
5.5 NOVA LAND INV 230427	1,000	991	110,128
0.25 TEVA PHARM F 260201	3,000	2,799	311,038
小 計	額 面 ・ 金 額 70,850	70,098	7,788,654
	銘柄数 < 比率 >	17	- <63.6%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	
3.5 SGL CARBON SE 200930	1,000	1,028	133,273
小 計	額 面 ・ 金 額 1,000	1,028	133,273
	銘柄数 < 比率 >	1	- <1.1%>
(ユーロ・・・イタリア)			
1.125 TELECOM ITA 220326	3,000	2,865	371,115
小 計	額 面 ・ 金 額 3,000	2,865	371,115
	銘柄数 < 比率 >	1	- <3.0%>
(ユーロ・・・フランス)			
0 INGENICO GROUP 220626	1,032	990	128,331
小 計	額 面 ・ 金 額 1,032	990	128,331
	銘柄数 < 比率 >	1	- <1.0%>

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・アラブ首長国連邦)		千ユーロ	千ユーロ	千円
1 AABAR INVESTMEN 220327		8,500	7,305	946,341
小 計	額 面 ・ 金 額	8,500	7,305	946,341
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<7.7%>
(ユーロ・・・メキシコ)				
0 AMERICA MOVIL S 200528		1,400	1,378	178,538
小 計	額 面 ・ 金 額	1,400	1,378	178,538
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<1.5%>
(ユーロ・・・中国)				
0 ZHEJIANG EXPRES 220421		1,900	1,797	232,878
小 計	額 面 ・ 金 額	1,900	1,797	232,878
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<1.9%>
ユ ー ロ 計		16,832	15,366	1,990,478
		銘 柄 数 < 比 率 >	6	<16.2%>
(イギリス)		千イギリスポンド	千イギリスポンド	
0 BRITISH LAND 200609		300	288	42,040
2.75 BRAIT SE 200918		2,300	2,120	308,865
小 計	額 面 ・ 金 額	2,600	2,409	350,906
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<2.9%>
(スウェーデン)		千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ	
2.75 RECIPHARM AB 211006		8,000	7,940	99,885
小 計	額 面 ・ 金 額	8,000	7,940	99,885
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.8%>
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	
2.25 FUTURE LAND 190210		12,000	11,835	167,583
0 POWERLONG REAL 190211		8,000	7,861	111,314
0 CIFI HOLDINGS 190212		12,000	11,835	167,583
4.25 CHINA EVERGR 230214		8,000	7,240	102,518
0 ZHONGSHENG G 230523		12,000	11,085	156,963
小 計	額 面 ・ 金 額	52,000	49,856	705,964
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<5.8%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	10,935,889
	銘 柄 数 < 比 率 >	31	—	<89.3%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## 外国公社債

### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	9,840	9,684	1,076,008	8.8	5.9	—	8.8	—
合 計	9,840	9,684	1,076,008	8.8	5.9	—	8.8	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

### (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 権 年 月 日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円			
普通社債券	2.15	APPLE INC 220209	2.15	3,250	3,146	349,608	2022/2/9
	4.625	NABORS INDU 210915	4.625	5,700	5,628	625,410	2021/9/15
	6.5	NAVIENT CORP 220615	6.5	890	908	100,989	2022/6/15
合 計						1,076,008	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2018年7月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	10,935,889	88.4
公社債	1,076,008	8.7
コール・ローン等、その他	357,689	2.9
投資信託財産総額	12,369,586	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(12,242,029千円)の投資信託財産総額(12,369,586千円)に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.11円	1 ユーロ=129.53円	1 イギリスポンド=145.65円	1 スウェーデンクローネ=12.58円
1 香港ドル=14.16円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月30日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	12,369,586,523
コール・ローン等	158,807,531
公社債(評価額)	12,011,897,691
未収入金	111,628,107
未収利息	81,992,122
前払費用	5,261,072
(B) 負債	119,000,252
未払解約金	119,000,000
未払利息	252
(C) 純資産総額(A-B)	12,250,586,271
元本	12,003,741,963
次期繰越損益金	246,844,308
(D) 受益権総口数	12,003,741,963口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,206円

## &lt;注記事項&gt;

- ①設定元本額 13,590,000,000円  
 期中追加設定元本額 2,232,299,183円  
 期中一部解約元本額 3,818,557,220円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0206円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型) 6,678,462,712円  
 世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジなし)(限定追加型) 5,325,279,251円  
 合計 12,003,741,963円

## 【お知らせ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)

## ○損益の状況 (2017年7月27日～2018年7月30日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	358,280,786
受取利息	354,264,374
その他収益金	4,297,269
支払利息	△ 280,857
(B) 有価証券売買損益	△ 91,725,053
売買益	470,398,911
売買損	△ 562,123,964
(C) 保管費用等	△ 2,569,462
(D) 当期損益金(A+B+C)	263,986,271
(E) 追加信託差損益金	△ 13,199,183
(F) 解約差損益金	△ 3,942,780
(G) 計(D+E+F)	246,844,308
次期繰越損益金(G)	246,844,308

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。